

大切な、早期発見、早めの駆除にご協力ください

水際の植物

ち切れた断片からも再生して増える強者達

■ オオフサモ



水上の莖の高さ0.1～0.3cm
白色を帯びた緑青色の鳥の羽のような葉を5～6枚ずつつける。

■ フラジルチドメグサ



葉の直径3～7cm
切れ込みが深く、全体が円い葉で、莖は長さ1m以上になる。

■ オオバナミスキンバイ / ウスゲオオバナミスキンバイ



花の直径4～5cm
水中型～陸上型まで、生態や形態の変異がとて大きい。
※水利施設への被害はほとんど確認されていないが、爆発的に増えることから、被害のおそれがある。

オオフサモが台風の大雨で小排水路と支線排水路の合流点に集積し、水が溢れて周りの畦畔が崩れてしまった。



フラジルチドメグサが水門付近に集積し、排水阻害を引き起こして水が溢れた支線排水路。



被害

切れ藻に注意!

■ ナガエツル / ゲイトウ



莖の長さ1m以上
水中～陸上まで生育でき、水面にマット状に広がる。

被害



被害にあったスクリーン

低地排水路等で繁茂したナガエツルノゲイトウが流下し、排水機場のスクリーン周辺に溜まり、目詰まりを起こした。

■ チクゴススメ / ヒエ



高さは0.3～0.8 m
長さ5～10cmの2本に分かれた穂をつける。

特 (特定外来生物) は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。
緊 (緊急対策外来種) は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種、
重 (重点対策外来種) は、甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い外来種、**総** (総合対策外来種) は、総合的に対策が必要な外来種です。
詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

水面下でみえないけれどあなどれない

■ オオカナダモ



葉の幅 2~4.5 mm
葉を3~6枚ずつつける。
日本では種子をつけない。

被害



オオカナダモが繁茂し、容量が低下することで調整機能が低下。流出口のスクリーンが目詰まりを起こして水が溢れた吐水槽。

■ コカナダモ



葉の幅 1~2.5 mm
葉を3枚ずつつける。
日本では種子をつけない。

1週間で2倍にも増える、2ヵ月では？

■ ホテイアオイ



高さ0.1~1.5m
浮囊が発達して浮かぶ。
薄紫色の花を多くつける。

被害



ホテイアオイの繁茂により、放水路下流の防潮樋門の通水障害や、水田の水没のおそれが発生した。
(1株が2ヵ月で500株になることも)

■ ボタンウキクサ



高さ0.3m
ビロード状の毛が密生し、水をはじいて浮かぶ。

詰まってしまう厄介者

■ カワヒバリガイ



殻長2~3 cm
少し黄緑色がかった黒褐色。
石や壁に塊になって固着する。

被害



カワヒバリガイの死貝で給水栓が詰まった。

■ タイワンシジミ



殻長1~2 cm
黄色~緑がかった黒褐色。
泥の中で生活している。

本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0514

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652